

慈恩寺 Times

第六号

【発行】

慈恩寺国史跡指定推進委員会

【発行日】

平成 25 年 10 月 18 日 (金)

【問合せ・ご意見等】

寒河江市 生涯学習課歴史文化係

TEL:0237-86-8231

E-mail:shogaku@city.sagae.yamagata.jp

国史跡指定へ向けてラストスパート！

H26.1 月

文化庁へ指定具申書提出



~H25.12 月

指定申請書(具申書)作成

- ・ 慈恩寺総合調査報告書作成
- ・ 指定予定地内地権者同意書取得
- ・ 必要書類、図面作成
- ・ 文化庁事前ヒアリング

現在、来年一月の文化庁への提出に向け、指定申請書(具申書)を作成しているところです。申請書に添付する史跡予定地内の地権者の同意書の取得率は90%を超えており、また、総合調査報告書も原稿を集約し編集を行っております。申請書作成に向けた9月25日の慈恩寺調査検討委員会では、重要な史跡の構成要素である「慈恩寺修験」について、指定範囲にどのように組み込むか話しあわれました。今後とも皆様のご協力何卒よろしく願います。

第 5 回 慈 恩 寺 シ ン ポ ジ ウ ム 開 催

平成25年度「山形ゆき」地域のシンボルの保存活用事業

慈恩寺
シンポジウム

テーマ:「地域の宝」を守り活かす

11/9(土) 13:30~16:00
会場:寒河江市文化センター
入場無料・申込不要

文化庁・佐藤主任調査官来る！

慈恩寺シンポジウムを左記の日程で開催します。5回目となる今回は、慈恩寺の国史跡指定を担当していただいている文化庁の佐藤主任調査官をお招きします。

当日は、佐藤氏より「慈恩寺の絵図を読む」と題して基調講演をいただき、その後、市文化財保護委員長の宇井啓氏の司会のもと、佐藤氏や参加者から意見を頂きながら史跡慈恩寺の保存と活用についてシンポジウムを行います。

数々の国史跡指定を手がけ、全国の史跡を見ている佐藤氏。絵図から読み取れる史跡・慈恩寺の姿や、史跡指定の実際、そして指定にあたっての我々の心構えなど、これから慈恩寺をどのように守り活かしていくか貴重なお話をお聞きする良い機会です。多くの方のご来場をお待ちしています。

慈恩寺国史跡
指定までの道程

・学術的裏付け調査
・総合報告書作成作業

・指定予定地確定

・指定予定地内
地権者同意

・総合報告書
完成

・文化庁へ
指定具申書提出

・文化庁が
文化審議会へ諮問



史跡・慈恩寺 Key Point

慈恩寺修験①

慈恩寺に修験道※が入ってきたのは、鎌倉時代の1185年（文治元）、高野山の弘俊という僧が真言密教とともに伝えたのが始まりです。その頃から葉山の山中を舞台に、^{ぶらゆう りっぼう}峯中（立峯）と呼ばれる修行が行われるようになりました。永正年間には葉山に12の坊があったといひます。

1586年（天正14）から41年間の峯中中断を経て、1627（寛永4）からは慈恩寺だけで峯中を行うようになりました。慈恩寺から北の山中に、一の宿（新山堂）、二の宿（高森・池）、三の宿（山業・愛染ヶ嶽）と修行場を定め、4月晦日から6月朔日の1ヵ月間峯中を行いました。明治5年の修験宗廃止まで定期的に峯中が行われていました。

※山中での厳しい修行を行うことで神秘的な力を身に付け、人々を救済するという山岳宗教。



ほら 法螺・緒



おい 笈

山伏道具 ▲

山中に広がる 修験行場跡 ▶



▲ 野点（茶会）の様子

五感で堪能しました。者は秋の気配に包まれた慈恩寺を

訪れました。参加

者が秋の気配に包まれた慈恩寺を

訪れました。参加

訪れました。参加

訪れました。参加

訪れました。参加

訪れました。参加

訪れました。参加

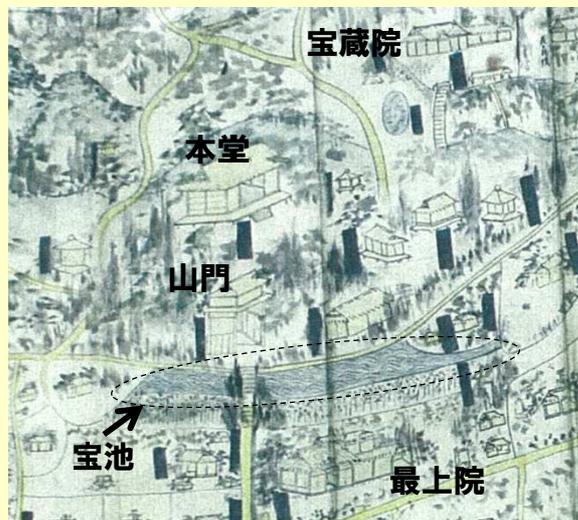


慈恩寺の秋を彩った 彼岸花

仏像が飛び込んだ宝池

発掘調査実施 10月28日～30日

上記の期間、宝池跡発掘調査を行います。以前、慈恩寺山門前には宝池と呼ばれる池がありました。昔の慈恩寺の絵図にも描かれています。現在は畑ですが、参道階段両脇が一段低くなっており、その面影が残っていることが分かります。この池には、過去の慈恩寺焼失の際に、仏像が自ら飛び込んで難を逃れたなどの言い伝えがあり、かなり古くからあったことが予想されます。史跡指定に向け、どのような規模の池で、時代はどこまで遡れるか等調査します。



▲ 江戸時代の絵図に描かれた宝池（文政11年）

寒河江市ホームページ上に「慈恩寺 Times」バックナンバーを掲載中！

慈恩寺 Times

検索